



IN ACTIVITY

## 令和5年度SCAT表彰の決定について

SCAT 表彰は、情報通信技術の研究開発により国民生活の安全安心に寄与するなど多大な貢献のあった研究者に授与するもので、令和元年度から公募・他薦により実施しています。

このたび、令和5年度の表彰者（会長大賞1件、会長賞4件、優秀賞1件）を決定しました。

### ■会長大賞

「日本社会の情報化を進めるための技術開発と制度改革への貢献」

齊藤 忠夫 氏  
(一社) ICT-ISAC 理事長

山口 雷蔵  
神戸大学大学院 医学研究科 外科学講座 特命教授  
神戸大学 医学部附属病院 国際がん医療研究センター副センター長

北辻 博明  
(株) メディカロイド 取締役 SEO

### ■会長賞

「VPN 技術によりネットワーク利用の安心・安全を向上する社会実装を実現」

登 大遊 氏  
ソフトイーサ (株) 代表取締役

### ■会長賞

「秘密計算技術の研究開発と実用化」

古川 潤 氏  
日本電気 (株)  
セキュアシステムプラットフォーム研究所 主幹研究員

### ■会長賞

「量子計算機アルゴリズムの先駆的研究を通じた耐量子計算機暗号技術の安全性評価への貢献」

谷 誠一郎 氏  
日本電信電話 (株) コミュニケーション科学基礎研究所 特別研究員 理論量子情報研究センター プロジェクトマネージャ

荒木 俊則  
日本電気 (株)  
セキュアシステムプラットフォーム研究所 ディレクター

土田 光  
日本電気 (株)  
セキュアシステムプラットフォーム研究所 特別研究員

### ■会長賞

「商用 5G ネットワークを活用した遠隔ロボット手術の実用化に向けた技術開発」

堀瀬 友貴 氏  
(株) NTT ドコモ 6G ネットワークイノベーション部ソリューション技術担当 担当課長

古川 諒  
日本電気 (株) セキュアシステムプラットフォーム研究所リードリサーチエンジニア

谷口 文浩  
日本電気 (株) デジタルテクノロジー開発研究所リサーチエンジニア

高関 拓也  
日本電気 (株)  
デジタルテクノロジー開発研究所 リサーチエンジニア

藤井 了  
日本電気 (株)  
デジタルテクノロジー開発研究所 リードリサーチエンジニア

#### ■優秀賞

「ITS、自動車のセキュリティ技術の標準化と実用化・人材育成・普及促進」

三澤 学 氏  
三菱電機 (株) 情報技術総合研究所 情報ネットワーク基盤技術部  
トラステッドシステム技術グループ グループマネージャ

## SCAT表彰式・交流懇談会

1月19日(金) 東京 千代田区の学士会館に於いて、SCAT表彰式・講演会を開催し、受賞者及び関係者にご参加頂き盛況のうちに終えることができました。



後列左から、山口様、北辻様、荒木様、土田様、古川様、谷口様、高関様、藤井様  
前列左から、安田委員長、堀瀬様、登様、齊藤様、谷様、古川様、三澤様、吉田会長

## ◇主催者挨拶



会長 吉田 進 氏

皆様、こんにちは。一般財団法人テレコム先端技術研究支援センターSCATの会長を務めております吉田でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず初めに、元日に発生しました能登半島地震にて犠牲になられました方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、厳しい寒さの中、情報通信ネットワークを含めまして精力的に復旧活動にあたられている皆様に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を祈念申し上げます。

さて、本日は、総務省、NTTをはじめとする賛助会員各位、そしてNICT、学識経験者などの皆様におかれましては、大変ご多用中にもかかわらず、テレコム先端技術研究支援センターSCATの表彰式にご臨席を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染防止の観点から一部制約のある中での開催となりましたが、本年は感染症法上の位置付けが変更となり、感染症対策も緩和され、ほぼ、平常に戻りつつあることから、従来どおりの形での開催とさせていただきます。

当財団でございますが、1988年に郵政大臣より財団法人設立許可を得て発足し、その後2006年の「公益法人制度改革」を受けて、2012年に内閣総理大臣の認可を得て一般財団法人に移行しております。おかげさまで、昨年末には設立36年目を迎えることができましたが、これもひとえに本日ご臨席の皆様をはじめとする、情報通信分野等の関係諸機関のご厚情とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当財団は、設立以来、情報通信分野における先端的な技術に関する調査研究及びこれに対する支援、研究開発への助成、先端技術情報の提供などの事業を通じて、我が国の情報通信技術の研究開発の進展のために力を尽くして参りました。

現在、当財団では、大学の研究者等が行う研究活動を支援する「研究助成事業」と、一般向けの「技術情報及び知識の普及事業」の2本の柱からなる「公益目的事業」を実施しております。

なかでも「研究助成事業」は、大学の研究者等に対する「研究費助成」、博士後期課程学生に対する「研究奨励金」、国際交流促進のための「国際会議助成」の3つの事業で構成されており、これまでに総計1200件以上の助成を実施して参りました。

また、2018年から、情報通信技術を用いることにより国民生活の安全安心に多大な貢献のあった研究者に対する表彰を実施してまいりました。本日は、会長大賞を受賞されました齊藤忠夫先生をはじめ14名の方々に表彰いたします。表彰を受けになる皆様には、心からお祝い申し上げます。

今年度受賞の対象となりました皆様のご功績については、後ほど研究者表彰選考委員会の安田靖彦委員長よりご紹介がございますが、選考にあたり多大なご尽力を賜りました委員長をはじめとする選考委員会の委員の皆様には、心より感謝申し上げます。

なお、本日は表彰式に続き、情報通信分野における技術政策動向に関する講演会を予定しております。総務省国際戦略局技術政策課研究推進室の高橋文武室長より、総務省における取り組みについてご紹介いただく予定です。

また、その後には、受賞者の方々に囲む懇親の場も用意しておりますので、引き続きまして、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

最後になりますが、ご臨席の皆様方におかれましては引き続き当財団に対するご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の今後益々のご活躍とご優勝を心より祈念申し上げます。表彰式典の開会にあたってのご挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

## ◇来賓祝辞



総務省 国際戦略局長 田原 康生 氏

◇来賓祝辞



情報通信研究機構(NICT) 理事長 徳田 英幸 氏

◇講評・受賞理由



研究者表彰選考委員会 委員長  
東京大学名誉教授、早稲田大学名誉教授  
安田 靖彦 氏

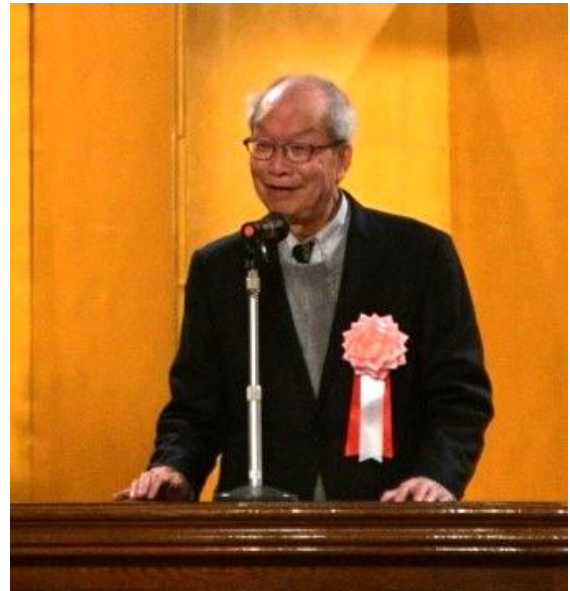


◇来賓祝辞

日本電信電話株式会社 副社長 川添 雄彦 氏

◇受賞者スピーチ

◆会長大賞



一般社団法人 ICT-ISAC 理事長 齊藤 忠夫 氏

◆会長賞



ソフトイーサ株式会社 代表取締役 登 大遊 氏

◆会長賞



株式会社 NTT ドコモ  
6G ネットワークイノベーション部  
担当課長 堀瀬 友貴 氏

◆会長賞



日本電信電話株式会社  
コミュニケーション科学基礎研究所 特別研究員  
谷 誠一郎 氏

◆会長賞



日本電気株式会社  
セキュアシステムプラットフォーム研究所  
主幹研究員 古川 潤 氏

## ◆優秀賞



三菱電機株式会社  
 情報技術総合研究所 情報ネットワーク基盤技術  
 部  
 トラステッドシステム技術グループ グループマ  
 ネージャ 三澤 学 氏

## ◆講演 「総務省における情報通信技術政策」



総務省 国際戦略局 技術政策課  
 研究推進室長 高橋 文武 氏



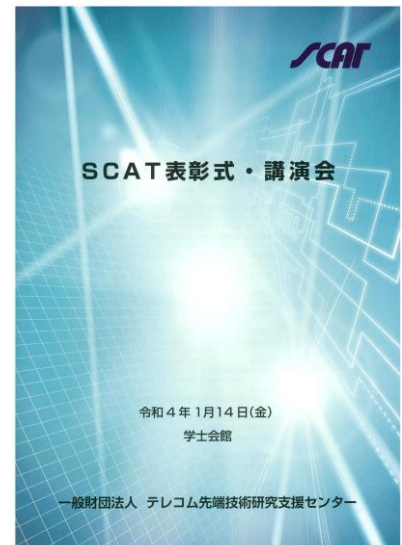
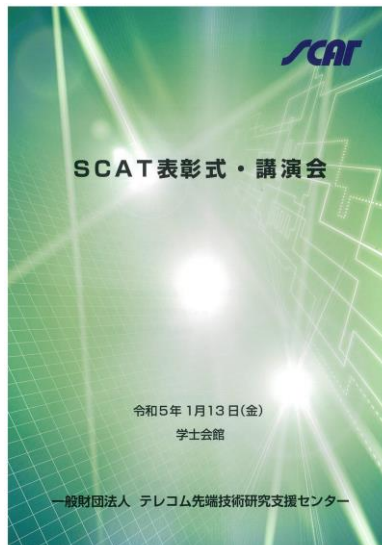
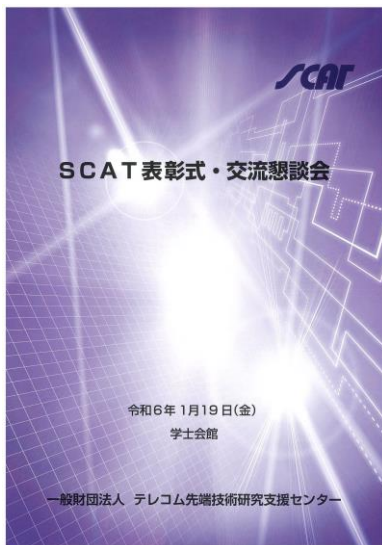
### 講演概要

我が国が目指す社会である「Society 5.0」の実現に向けて、あらゆるサービスを結ぶBeyond 5G などの情報通信インフラは、経済活動や国民生活に不可欠なデジタル基盤となっている。我が国を取り巻く環境が厳しさを増し、ICT 分野のグローバル競争が激化する中、急激な進化を遂げ、新たな社会インフラになりつつある大規模

言語モデルなどの「生成 AI」、我が国が得意とする「多言語翻訳技術」、新たな量子産業の基盤となる「量子暗号技術」について、産官学連携による研究開発や社会実装を強力に推進していくことが必要である。

こうした背景から、講演では、生成 AI、多言語翻訳、量子暗号・通信等に関する政府戦略や総務省における最新の取組を紹介いただいた。

## ◇会場の様子



SCAT表彰式・講演会のパンフレット(式次第、受賞者紹介等)をご必要な方は、SCATまでご連絡ください。